

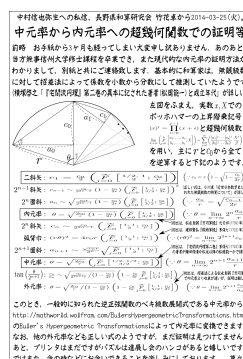
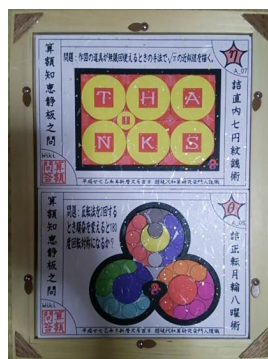
長野県和算研究会員 竹花卓「中村信弥先生を偲んで」2020年04月14日

昨年の突然の悲報に接し、はや1年余が経ちました。私は、5年半前にあった第11回全国和算長野大会の折から、本格的にお手伝いを打診されたという関係で、短い間でしたが大変お世話になりました。

信弥先生の素晴らしい数々の成果は、それまでの会合や個人的に調べた資料等で存じてましたので、未熟な私が話しかけたりは恐れ多く思っていたのですが、メール等も気さくに頂き嬉しかったです。



当時、コンピュータや数学を学術的に突き詰めることに疲れてしまっていた私が、和算の算額という芸術性さらには全ての万物が従う根源的な数理パズルという最も単純化された仕組み等、江戸時代でも多くの人が追い求めた知的好奇心や情熱を信弥先生に出逢えて教わった事、想い返す度に救われてます。



上図等で貴重な御意見を賜りながらご一緒した時間や、亡くなられる半年前ぐらいの会合の帰りに御自宅までお送りした際は、小諸図書館の入り組んだ地下駐車場とかの話からもう次の運転免許更新が心配とか冗談交じりに場を和ませてくれた事が、とても印象に残っております。この度、喪主を務められた中村達弥様を始め、親しかった関口哲男様ほか皆々様の尽力あり遺された資料がその小諸図書館に寄贈されたとのこと、様々な感謝を心に刻みつつ引き継いだ想いと文化を広め繋げる所存です。どうか安らかに御見守り頂き、良い報告ができるよう頑張ります。不尽